

——以下の各件は本会が共催・協賛・
後援等をする行事です——

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

第32回放射線利用総合シンポジウム

主催 (一社)大阪ニュークリアサイエンス協会
期日 2024年1月22日(月)
会場 ONSA Office 会議室
ホームページ <http://onsa.gdgd.jp/>
連絡先 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場3-3-27
サンエイビル4F (一社)大阪ニュークリアサイエンス協会
〔電話:06-6282-3350, FAX:06-6282-3351,
E-mail:onsa-ofc@nifty.com〕

第3回油化学セミナー

主催 (公社)日本油化学会関東支部
期日 2024年1月26日(金)
会場 油脂工業会館9階会議室
ホームページ <https://jocs.jp/oil-multi/kantosibu/>
主催セミナー/
連絡先 〒230-0053 神奈川県横浜市鶴見区大黒町7-41
㈱J-オイルミルズ 加茂修一
〔電話:045-503-2624, E-mail:shuichi.kamo@j-oil.com〕

第40回希土類討論会

主催 日本希土類学会
期日 2024年5月16日(木)・17日(金)
会場 松山市立子規記念博物館
ホームページ <http://www.kidorui.org/>
連絡先 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1 大阪大学
大学院工学研究科 応用化学専攻内 日本希土類学会事務局
〔電話:06-6879-7352, E-mail:office@kidorui.org〕

「分析化学」年間特集“分”の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」では2010年より「年間特集」を企画し、節目の15年目に当たる2024年は「分」をテーマとすることと致しました。

本特集では「分」をキーワードとして、基礎・応用を含めた分析化学の“最新の知見”はもちろん、総合論文や分析化学総説といった形で現在の分析化学の“研究の背景”についても広く募集し、分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。本特集に関わる論文はすべての論文種目で年間を通じてご投稿いただくことが可能で、審査を通過した論文は単行の特集号を除く「分析化学」第73巻(2024年)合併号の冒頭に掲載する予定です。国内外、産学官を問わず、「分」に関わる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。なお、詳細は「分析化学」誌の12号及びホームページをご参照ください。

特集論文の対象:「分」に関連した分析化学的な基礎・応用研

究に関する論文。例を以下に示します。

- 1) 環境水や体液といった液体試料を分析するための前処理分離に関する研究,
- 2) さまざまな物質中から測定対象物質を分離抽出する技術に関する研究,
- 3) 環境からの有害物質の除去・有用物質の回収に関する研究,
- 4) クロマトグラフィーに関する基礎・応用研究,
- 5) 分離のシミュレーションを活用した分析化学的研究,
- 6) 生体サンプル中のバイオマーカー検出に関する研究。

特集論文原稿締切:2024年4月26日(金) (第3期)

「分析化学」特集

“流れ分析—40年の歩みとこれから”の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会は、フローインジェクション分析研究懇談会と共同で「流れ分析—40年の歩みとこれから」と題した特集を企画しました。フローインジェクション分析研究懇談会は、1984年に設立され、2024年に40周年を迎えます。この間、様々な流れ分析のプラットフォームが開発され、発展してきました。また、JISにおいて規格化され、臨床、産業、環境をはじめとする様々な分野で活用されるようになりました。本特集号では、流れ分析のこれまでの発展に関する総合論文、流れ分析法の未来を切り開く新しいプラットフォームの開発、新しい検出法や流れの特性を活かした検出反応、溶液のハンドリングを自動化し様々な測定器への直接導入を可能とした前処理法などの分析法をはじめ、流れ分析の迅速かつ高感度である特徴を活かしたアプリケーションの展開などについて報文などの投稿をお待ちしております。奮ってご投稿ください。詳細はホームページをご確認ください。

特集論文申込締切:2024年2月20日(火)

特集論文原稿締切:2024年4月12日(金)

初めて書く論文は母語の日本語で!

“第23回若手研究者の初論文特集”募集のお知らせ

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会では、2024年(第73巻)に第23回「若手研究者の初論文特集」を企画します。卒研究生、修士・博士課程院生並びに若手研究者の方々にとって、ご自分の研究成果を日本語で投稿できるよい機会です。なお、2019年より本特集を年間特集とし、都合の良いときに執筆して投稿できるようにしました。年間を通して論文原稿を受け付け、審査を経て掲載可になり次第随時掲載いたしますので、奮ってご投稿ください。

なお、詳細は「分析化学」誌HPをご参照ください。

ぶんせき誌「技術紹介」の原稿募集

『ぶんせき』編集委員会

分析化学は種々の分野における基盤技術であり、科学や産業の発達・発展だけでなく、安全で豊かな生活の実現に分析機器が大きく貢献してきました。近年の分析機器の高性能化・高度化は目覚ましく、知識や経験がなくても、微量物質の量や特性を測定できるようになりました。この急速な発展は、各企業が持つ高度で多彩な技術やノウハウによって達成されたといっても過言ではありません。一方、高度化された分析機器の性能・機能を十分に発揮させるためには、既存の手法に代わる新規な

分析手法が必要であり、高度な分析機器に適合した分析手法や前処理手法の開発が分析者にとって新たな課題となっています。また、分析目的に合致した高純度試薬の開発に加えて、測定環境の整備、試薬や水の取り扱いなどにも十分な配慮が必要です。極微量の試料を分析する際には、測定原理を把握すると共に、手法や操作に関する知識・技能を身に付ける必要があると考えます。

このような背景に鑑み、『ぶんせき』誌では新たな記事として「技術紹介」を企画いたしました。分析機器の特徴や性能、機器開発に関わる技術、そしてその応用例などを紹介・周知することが分析機器の適正な活用、さらなる普及に繋がると考えており、これらに関する企業技術を論じた記事を掲載することといたしました。また、分析機器や分析手法の利用・応用における注意事項、前処理や操作上のコツなども盛り込んだ紹介記事を歓迎いたします。これらの記事を技術紹介集として、『ぶんせき』誌ホームページ内に蓄積することで、様々な分野における研究者や技術者に有用な情報を発信でき、分析化学の発展に貢献できるものと期待しております。分析機器や分析手法の開発・応用に従事されている多くの皆様方からのご投稿をお待ちしております。

記

1. 記事の題目：「技術紹介」
2. 対象：以下のような分析機器、分析手法に関する紹介・解説記事
 - 1) 分析機器の特徴や性能および機器開発に関わる技術、
 - 2) 分析手法の特徴および手法開発に関わる技術、
 - 3) 分析機器および分析手法の応用例、
 - 4) 分析に必要となる試薬や水および雰囲気などに関する情報・解説、
 - 5) 前処理や試料の取り扱い等に関する情報・解説・注意事項、
 - 6) その他、分析機器の性能を十分に引き出すために有用な情報など
3. 新規性：本記事の内容に関しては、新規性は一切問いません。新規の装置や技術である必要はなく、既存の装置や技術に関わるもので構いません。また、社会的要求が高いテーマや関連技術については、データや知見の追加などにより繰り返し紹介していただいても構いません。
4. お問い合わせ先：日本分析化学会『ぶんせき』編集委員会
[E-mail : bunseki@jsac.or.jp]

「お知らせ」欄原稿について

支部並びに研究懇談会の役員の皆様：掲載用の原稿ファイルをどうぞ電子メールでお送りください。送り先は shomu@jsac.or.jp です。原稿の長さには制限はありませんが原稿締切日は掲載月の前々月 25 日（例：1 月号掲載→11 月 25 日締切）となっておりますのでご注意ください。

本会外から掲載をご希望の場合は以下をご参照ください。

- 1) 掲載できるものは本会が共催、協賛、後援するものに限られます。
- 2) 国際会議につきましては共催、協賛、後援申請に関する規程並びにフォームがありますので、ホームページをご覧ください。どうか、本会事務局長宛にお問い合わせください。
- 3) 国際会議以外の講演会等に関しましては、会名、会場、主催団体名、同代表者名、開始期日、終了期日、連絡先並びに同電子メールを記載のうえ、書面でお申し出ください。
- 4) 掲載原稿の作成要領に関しましては承諾をご返事する際にお知らせします。
- 5) 本会支部または研究懇談会が共催、協賛、後援を承諾した事業につきましては、その旨をメールにお書きいただき、原稿ファイルを shomu@jsac.or.jp にお送りください。

国際会議以外の共催、協賛、後援に関する規程抜粋（共催）

8. 討論会、講演会等の共催とは、その討論会、講演会等の開催について、本会は主体性を持たず、会誌等を通じて広報活動等の援助を行う場合をいう。
9. 本会が討論会、講演会等を共催する場合は、その討論会、講演会等の主要議題が本会の専門分野と関連を持ち、本会正会員が会議の準備、運営等の委員に若干名加わることを条件とする。
10. 本会が共催する討論会、講演会等に対しては、他学協会長等の申し出によって会誌等による広報活動の援助を行う。特に理事会の承認を得て分担金を支出することがある。（後援又は協賛）
11. 討論会、講演会等の後援又は協賛とは、本会がその討論会、講演会等の開催に賛同し、後援又は協賛団体の一つとして、本会名義の使用を認める場合をいう。
12. 本会が討論会、講演会等を後援又は協賛する場合は、その討論会又は講演会が分析化学に関連を持ち、その開催が本会会員にとっても有意義であることを条件とする。
13. 本会が後援又は協賛する討論会、講演会等に対しては、希望に応じ会誌等による広報活動の援助を行うことがある。

第84回分析化学討論会

— 講演募集 —

標記討論会を以下の日程で開催いたします。講演申込及び講演要旨の提出にはアトラス社、Confitによるオンライン登録システムを使用します。郵送、FAX及び電子メールでの受付は一切行いません。本討論会では、主題講演（口頭発表）、一般講演（口頭発表、ポスター発表）、若手講演（ポスター発表）、テクノレビュー講演（口頭発表、ポスター発表）及び産業界R&D紹介講演（ポスター発表）を設けましたので、以下の各事項をご参照のうえ、講演申込登録締切までにオンライン登録システムによりお申し込みください。講演要旨は1講演A4判1頁となります。最新の情報や講演申込等の詳細については、12月上旬に開設予定の第84回分析化学討論会ホームページ（以下、討論会HPと略）を必ずご確認ください。

【第84回分析化学討論会公式WebサイトURL（講演申込）】

討論会HP：<https://confit.atlas.jp/jsac84touron>

【第84回分析化学討論会講演申込・講演要旨提出スケジュール】

・講演申込登録開始：2023年12月13日（水）

ご注意ください：講演申込は会員登録がお済みの方に限られます。

非会員の方は必ず個人会員登録をお済ませの上お申し込みください。

・講演申込登録締切：2024年1月24日（水）（厳守）

・講演要旨提出締切：2024年3月6日（水）（厳守）

主催（公社）日本分析化学会

協賛 国立大学法人京都工芸繊維大学

会期 2024年5月18日（土）・19日（日）

日程 5月18日：主題講演（口頭）、一般講演（口頭、ポスター）、若手講演（ポスター）、テクノレビュー講演（口頭、ポスター）、産業界R&D紹介講演（ポスター）、市民公開講演会、ランチョンセミナー、機器展示会

5月19日：主題講演（口頭）、一般講演（口頭、ポスター）、テクノレビュー講演（口頭、ポスター）、市民公開講演会、ランチョンセミナー、機器展示会

※日程は変更する場合があります。

会場 京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス

〔京都市左京区松ヶ崎橋上町1〕

懇親会 5月18日（土）18時～20時（予定）

ホテルオークラ京都

発表形式 01：主題講演（口頭発表）、02：一般講演（口頭発表）、03：一般講演（ポスター発表）、04：若手講演（ポスター発表）、05：テクノレビュー講演（口頭発表）、06：テクノレビュー講演（ポスター発表）、07：産業界R&D紹介講演（ポスター発表）

討論主題（主題講演）

第84回分析化学討論会では5件の討論主題を設定します。

1) 「文化財をはかる、なおす、まもる分析化学」

（市民公開講演会）

オーガナイザー：

辻 幸一（大阪公立大）、藤原 学（龍谷大）

2) 「環境調和・資源循環型社会の創生と分析化学」

オーガナイザー：

布施泰朗（京工繊大）、長谷川浩（金沢大）

3) 「ものづくりを支える分析化学」

オーガナイザー：

山本雅博（甲南大）、駒谷慎太郎（堀場テクノサービス）

4) 「宇宙と分析化学」（市民公開講演会）

オーガナイザー：

村松康司（兵庫県大）、大城敬人（大阪大）

5) 「生命の活動を知る分析化学」

オーガナイザー：

井上久美（山梨大学）、長峯邦明（山形大学）

※討論趣旨及び依頼講演は決定しましたら討論会HP上で公開します。

【講演分類一覧】 別記を参照ください。

【講演申込要項】

本討論会に講演申込を行うにあたり、下記の各事項をあらかじめご承諾のうえ、講演申込を行ってください。

- 講演内容は、未発表のものに限ります。ただし、主題講演には、既発表のものが一部含まれていても差し支えありません。
- 講演時間は、一般講演（討論主題での口頭発表を含む）は15分（講演12分、討論3分）、依頼講演及びテクノレビュー講演（口頭発表）は30分（講演25分、討論5分）、ポスター発表（一般講演、若手講演、テクノレビュー講演、産業界R&D紹介講演）は60分を予定。なお、口頭及びポスター発表の講演方法についての詳細は、討論会HPに掲載予定です。若手講演（ポスター発表）、テクノレビュー講演（口頭・ポスター発表）及び産業界R&D紹介講演（ポスター発表）への応募の詳細は別記を参照ください。
- すべての口頭発表会場にプロジェクターと接続用HDMIケーブルを用意します。講演者は講演データのいったノートパソコンを持参して講演発表を行ってください。
- 講演者（登壇者）は、講演申込時点において日本分析化学会の個人会員（正会員、教育会員、学生会員）であること（産業界ポスターは維持会員も可）、会員は2024年会費が納入済みであることが必要です。講演を希望する方は、学会ホームページ（以下、学会HPと略）から入会手続きを済ませたうえで、講演申込をお願いします。なお、講演者

(登壇者)は、本討論会への参加登録とは別に、参加登録料の支払いを済ませないと講演発表ができません。

- 同一演題で発表形式を変えて(口頭とポスター発表など)重複講演することはできません。
- 関連ある複数の講演(口頭発表に限る)を連続して発表したい場合は、講演申込締切日までに発表順序を実行委員会に申し出てください。但し、発表形式と講演分類(主題講演の場合は討論主題分類)が一致している場合に限り、講演日及び講演時間の指定はご容赦ください。なお、希望にそえない場合もありますので、最終決定は実行委員会に一任ください。
- 会場の都合等で、発表形式を変更する場合は、事前に実行委員会より連絡します。

講演申込方法 Web申込に限ります。討論会HPおよび「要旨作成テンプレート」をご覧のうえ、講演申込登録、要旨作成及び提出をお願いいたします。郵送、FAX及び電子メールでの申込はできません(講演申込登録締切日厳守のこと)。申込者のコンピュータ環境(ネットワーク環境を含む)が原因で講演申込の登録に不備をきたしても、実行委員会、学会事務局は一切責任を負いかねます。講演申込に関する緊急情報や変更点などのお知らせ、講演申込システム等の障害情報は速報性を考慮してすべて討論会HP(または学会HP)に掲載しますので、適宜ご覧ください。本誌発行後に登録システムを予告なく変更する場合があります。最新情報等の詳細は討論会HPを参照ください。

【若手講演(ポスター)募集】

主催 第84回分析化学討論会実行委員会

共催 全国若手交流会

期日 5月18日(土)

会場 京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス

趣旨 分析化学の時代を担う大学院生や若手研究者・技術者による研究成果の発表と相互のさらなる発展を目的として若手講演(ポスター)を企画しました。分析化学は自然科学の基盤を支える重要な学問・研究分野として、また産業の技術革新を押し進める原動力として重要な役割を果たしています。本企画が、大学院生や若手研究者・技術者の研究成果のアピールや情報交換・交流によって分析化学の一層の活性化を促す機会となることを期待しています。このポスターセッションでは優秀ポスター賞を選出いたします。奮ってご応募ください。

発表形式 ポスター発表会場における60分のポスター発表形式。講演要旨は要旨集に掲載します。

講演申込方法 一般講演等に準じてオンライン(Web)上からお申し込みください。「発表形式」の欄で、「04:若手講演(ポスター)」を選択してください。講演申込・講演要旨提出はすべて本討論会の諸規則に準じます。講演申込締切後の発表形式の変更はできません。

講演申込登録締切 一般講演等と同じ。

募集対象 本会学生・個人会員(概ね30歳まで)

※非会員は発表できません。

【テクノレビュー講演募集】

主催 第84回分析化学討論会実行委員会

期日 5月18日(土)・19日(日)

会場 京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス

発表形式 口頭発表かポスター発表を選択できます。口頭発表は一般講演口頭発表会場で、ポスター発表は一般講演ポスター会場で開催します。口頭発表は30分(講演25分、討論5分)、ポスター発表は60分の予定です。講演要旨は要旨集に掲載します。

講演料 口頭発表、ポスター発表いずれも1件50,000円(税

込)。講演料には発表者の参加登録料1名分が含まれます。

講演申込方法 一般講演等に準じてWeb上からお申し込みください。「発表形式」の欄で、「05:テクノレビュー講演(口頭)」または「06:テクノレビュー講演(ポスター)」を選択してください。講演申込・講演要旨提出はすべて本討論会の諸規則に準じます。

講演申込登録締切 一般講演等と同じ。

【産業界R&D紹介講演(ポスター)募集】

主催 (公社)日本分析化学会・「産業界における研究開発と分析ソリューション」シンポジウム企画運営委員会

趣旨 産業界の分析部門間及び産学官の交流・情報収集・研究議論・技術発信/アピール・若手育成と、学生に向けた企業活動説明を目的とします。

期日 5月18日(土)

会場 京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス

発表形式 ポスター発表会場における60分のポスター発表形式。講演要旨は要旨集に掲載します。

募集対象 産業界で活躍されている研究者、技術者(本会維持会員または正会員に限ります)。ただし、維持会員企業の方のご発表は1件に限ることとします。

講演申込方法 一般講演等に準じてWeb上からお申し込みください。「発表形式」の欄で、「07:産業界ポスター」を選択してください。講演申込・講演要旨提出はすべて本討論会の諸規則に準じます。

講演申込登録締切 一般講演等と同じ。

【付設展示会等出展のお願い】

機器・カタログ出展および
ランチョンセミナー・バナー広告

主催 第84回分析化学討論会実行委員会

分析・計測機器関連のメーカー・販売会社、分析技術提供会社との相互交流・情報交換の場として、展示会を開催いたします。また、期間中の昼休みを利用して企業セミナー(ランチョンセミナー)を開催いたします。

【機器・カタログ展示会】

展示日時 5月18日(土)・19日(日)

(ただし、19日は14時までの予定)

会場 京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス(ポスター会場)

展示費用 1小間:80,000円(税別)

書籍販売 1小間:50,000円(税別)

募集締切日 3月27日(水)

【ランチョンセミナー】

日時 5月18日(土)・19日(日)12時10分~13時

会場 京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス(口頭発表会場)

開催費用 150,000円(税別)

※セミナー運営に関する費用(昼食用弁当など)は別途。

募集締切日 3月27日(水)

【ホームページバナー広告】

公開場所 第84回分析化学討論会HP

掲載期間 2024年1月~5月

掲載料金 1枠:1月~5月 50,000円~

3月~5月 30,000円~(いずれも税別)

問合先・申込先 〒104-0061 東京都中央区銀座7-12-4

(友野本社ビル) ㈱明報社(担当:後藤)

[電話:03-3546-1337, FAX:03-3546-6306,

E-mail: info@meihosha.co.jp]

※展示会及びランチョンセミナーの内容は変更になる場合がございます。詳細は㈱明報社にお問い合わせください。

【宿泊等についてのご注意】

実行委員会では宿泊先等にかかる斡旋は行いません。なお、皆さまの宿泊先についてのアンケートを実施予定ですので、参加受付時には是非ご協力の程、お願いいたします。

【託児所開設について】

第84回分析化学討論会では、託児所を開設の予定です。事前予約制とします。詳細は討論会HPをご参照ください。

【Web版講演要旨集の発行日について】

第84回分析化学討論会Web版講演要旨集の発行日は、2024年5月2日です。特許出願の際は、下記の特許庁ホームページを参照ください。

<https://www.jpo.go.jp/index.html>

本要旨集に掲載されたものについての著作権は、(公社)日本分析化学会に帰属します。

【その他事項】

講演プログラム速報版は討論会HPに3月下旬までに掲載予定です。

【その他の会合】

【市民公開講演会】

主催 第84回分析化学討論会実行委員会
日時 2024年5月18日(土)
会場 京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス60周年記念館1階大ホール

「宇宙と分析化学」

オーガナイザー:

村松康司(兵庫県大), 大城敬人(大阪大)

日時 2024年5月19日(日)
会場 京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス60周年記念館1階大ホール

「文化財をはかる, なおす, まもる分析化学」

オーガナイザー:

辻 幸一(大阪公立大), 藤原 学(龍谷大)

【ものづくり技術交流会 2024 in 近畿】

主催 分析イノベーション交流会
日時 2024年5月18日(土)
会場 京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス60周年記念館2階大セミナー室

【講演分類一覧】

大分類 A 元素・単体・分子・材料

- 01: 金属材料, 金属錯体
- 02: 希土類元素, アクチノイド元素, 放射性元素, 原子力関連材料
- 03: 非金属元素, 炭素材料
- 04: 無機化合物, 無機材料
- 05: 高分子・有機化合物, 繊維材料

大分類 B 化成品, 工業製品

- 06: 半導体, 電気・電子製品
- 07: 磁器・陶器, セラミックス, ゴム, 樹脂, プラスチック
- 08: 油脂, 界面活性剤, 染料, 顔料, 塗料, 化粧品
- 09: 木材, パルプ, 被服, 繊維製品

- 10: 電池, エネルギー関連材料・製品

大分類 C 食品, 農林水産業

- 11: 食品, 食品添加物, 発酵生産物, 飲用アルコール
- 12: 農産物, 林産物(キノコ, 漆, 炭等を含む), 水産物
- 13: 農薬, 飼料

大分類 D 自然, 環境, 考古学, 法科学

- 14: 宇宙(星間物質, 小惑星)
- 15: 大気環境(無機ガス, VOC, エアロゾル, 浮遊粒子, ばい煙)

- 16: 水環境(海洋, 陸水, 地下水, 飲料水, 排水)

- 17: 土壌, 岩石

- 18: 植物, 動物

- 19: 廃棄物, 煤塵, 焼却灰

- 20: 文化財, 遺跡, 遺物

- 21: 法科学

大分類 E 生体物質, 医薬・医療

- 22: 生体構成物質(核酸, アミノ酸, ペプチド, タンパク・酵素, 脂質等), 代謝物

- 23: 細菌, ウイルス, 菌

- 24: 細胞, 脂質二分子膜, リポソーム

- 25: 医薬品

- 26: 医療・臨床・疾病診断

大分類 F 分離場, 状態

- 27: 表面・界面(液液系, 固液系, 気液系, 気固系)

- 28: 溶液(水溶液, イオン液体, 濃厚塩), 凝縮相(液滴, 氷)

- 29: コロイド(微粒子およびナノ粒子)

大分類 G 基礎・一般

- 30: 情報科学, 理論科学

- 31: 計測原理一般

- 32: 分析化学基礎・教育

【各種お問い合わせ先】

講演及び会場などに関するご質問は実行委員会までお問い合わせください。なお今般、討論会・年会にかかる運営が大幅に変更となった関係で回答までに相応の日数を要する場合がございますことご容赦ください。

第84回分析化学討論会実行委員会事務局

E-mail: 84touron@jsac.jp

【重要】講演要旨について

1 講演あたりの講演要旨のサイズはA4判1頁とし、PDFファイルによる提出となります。概略は以下の通りです。詳細は討論会HPを参照ください。

- ・1 講演あたりの講演要旨のサイズはA4判1頁

(図表, 画像等を含みます)。

- ・カラー図表, 画像も可。

記載内容, 形式等については討論会HP内に要旨作成テンプレートを置く予定ですので, そちらをご参照ください。

【第84回分析化学討論会参加登録料について】

本討論会に参加予定の方は、登壇者を含めて全員参加登録をお願いいたします。登壇者(依頼講演者の一部)は討論会への参加申込登録を行わないと講演発表ができませんので、必ず参加登録をしてください。参加予約登録(オンライン登録)の申込方法の概要は「ぶんせき」誌2月号及び討論会HPに掲載いたします。参加予約登録料等は以下の通りです。

参加登録料

予約: 会員 9,000 円, 学生会員 4,000 円, 非会員 18,000 円, 非会員学生 8,500 円

通常: 会員 12,000 円, 学生会員 5,000 円, 非会員 21,000 円, 非会員学生 9,500 円

お知らせ

※参加登録料はすべて税込金額です。

【参加登録料の領収書の発行について】

参加登録のサイトからダウンロードできます。